

本気

校 長 武井 正明

朝からもう暑い。今日は熱い一日になる。

まずは昨日に続いて男子バスケ。舞台を長岡から中之島に移し、仕切り直した。

相手は宿敵燕中。吉中選手たちの表情は落ち着いている。昨日の悔しさが、いい方向に生きてくることを願う。試合は順調に吉中ペースで進んだ。第2Q終了時点で37対21とリードを奪う。勝利を信じ、祈りながら一旦中之島を離れる。

剣道個人戦はもう終わっただろうか、昼前の微妙な時間だ。高速で向かえばギリギリ間に合う。祈りながら向かった。

会場に着くと吉中の彼が目飛び込んできた。まさに県大会出場を懸けた三回戦が始まる瞬間だった。

見て驚いた。とにかく速いのである。まずは様子見なんてぬるい試合ではなかった。ほんの少しでも油断したら竹刀で刺されるのではないかくらいの殺気が漂っていた。

彼は燕の強豪に惜敗したが、積極果敢に挑む姿勢は全く引けを取っていなかった。短い時間であったが実に見ごたえのある一戦だった。ダメ元で来てよかった。今後の彼に大いに期待したい。

団体戦も観たかったが、午後のダイエープールは決勝がある。しかも3年男子主将の泳ぎを観る絶好の機会だ。団体戦の健闘を祈り、折り返し長岡に戻る。

決勝は50m自由、私にとっては十二分に長いが彼らからしたら短期決戦なのだろう。この距離を30秒以内で泳ぐのだからたいしたものだ。颯爽と彼は登場した。そして一斉に全員が水面を覆うように飛び込んだ。泳ぎはあっという間、大きく早くストロークが回転する。そして彼はこの大舞台で自己ベスト、6位県大会進出を決めた。

200m背泳ぎ3年の彼女も素晴らしい泳ぎだった。前半から上位をキープし、安定した泳ぎで見事5位、これも県大会を決めた。

そして再び中之島に戻る。

長岡東北との大激戦が始まっていた。第2Qまでは互角。第3Q、勝負所で東北の3ポイントが決まり出し終了時点で35対40、5点差だ。

私が嬉しかったのは、その最終Qで見た彼らの本気の眼だ。彼らは最後の1分を切っても試合を諦めていなかった。こういう本気こそがカッコいいのだよ。

君たちはカッコよかった。惜敗だったが、胸を張っていい。私は君たちを誇りに思う。最高のプレーをありがとう!!

